

# オーストリア・ハプスブルク家が設立

ヘルタさんにサインしてもらった龍馬のポスターを掲げる  
森館長(中央) 二いづれも県立坂本龍馬記念館提供



幕末の志士・坂本龍馬に15日、オーストリアの平和団体から「平和の炎賞」が贈られた。龍馬の「代理人」としてウィーンでの授賞式に出席した県立坂本龍馬記念館の森健志郎館長(左)は「平和を目指した龍馬の思いが世界に受け入れられたようで、本当にうれしいぜよ」と喜びを語った。 【最上和喜】

同賞は、同国の名家 タ・マルガレーテ・ハプスブルク家のヘルプスブルク・ロートリ

# 龍馬に「平和の炎賞」



ヘルタさん(左)からトロフィーを贈られる森館長(中央)と示野さん

## 「世界に受け入れられた」

ンゲンさんが2000年、岩谷滋雄・前駐オーストリア大使(11年に設立した平和団体「平和の炎」が主催。年)に続いて3回目。08年から世界平和に貢献している個人・団体を顕彰している。平和の炎による、日本人の受賞は薄井憲二・日知市出身でウィーン在住のオペラ歌手、示野

授賞式には、日本から森館長のほか、坂本家9代目当主の坂本啓さん(右)、県文化生洋部の原哲副部長ら16人が出席。ヘルタさんから森館長と示野さんにトロフィーと賞状が贈られた。森館長は「集団的自衛権に絡む改憲議論や原発問題など、平和や安全が揺らいでいる今こそ、龍馬のトウに私心のない思想で物事を考えることが必要ぜよ」と訴える。